

苫小牧 AI データセンター事業 本格始動

～66kV 特別高圧変電所建設工事を開始～



株式会社環境フレンドリーホールディングス（東証グロース：3777）は、本日、連結子会社である AI Tech Tomakomai 株式会社（ATT）が北海道苫小牧市において推進する AI データセンター事業において、66kV 特別高圧変電所建設工事を開始したことをお知らせいたします。

本工事は、2026 年 6 月 19 日に公表した株式会社ユアテックとの工事請負契約に基づき開始したものであり、AI データセンターの運営に必要な大容量電力供給基盤を構築するものです。

AI データセンター事業が次のフェーズへ

当社グループは、2026 年 5 月 29 日の AI Tech Tomakomai 株式会社の子会社化及び土地取得、6 月 19 日の 66kV 特別高圧変電所建設工事契約締結に続き、本日の工事開始により、苫小牧 AI データセンター事業は構想・準備段階から本格的なインフラ建設フェーズへ移行しました。

本工事は、将来的な受電容量 50MW 規模の AI データセンターを見据えた基幹電力インフラを整備するものであり、当社グループが推進する「GX×AI インフラ」戦略の中核となるプロジェクトです。

第Ⅰ期・第Ⅱ期を並行して推進

苫小牧 AI データセンター事業では、

第Ⅰ期：供給能力 10MW による AI データセンターの早期事業化（2026 年 10 月稼働開始予定）

第Ⅱ期：66kV 特別高圧受電設備を活用した供給能力 50MW への段階的拡張（2027 年 12 月稼働開始予定）を計画しております。

今回開始した 66kV 特別高圧変電所建設工事は、第Ⅱ期設備整備の中核を担う一方、第Ⅰ期事業との連携により、将来的な電力供給能力の拡張を見据えたインフラ整備を進めるものです。

AI インフラ事業の着実な進展

現在、当社グループでは、AI データセンター設備の整備に加え、国内外の AI クラウドサービス事業者との協議を進めております。

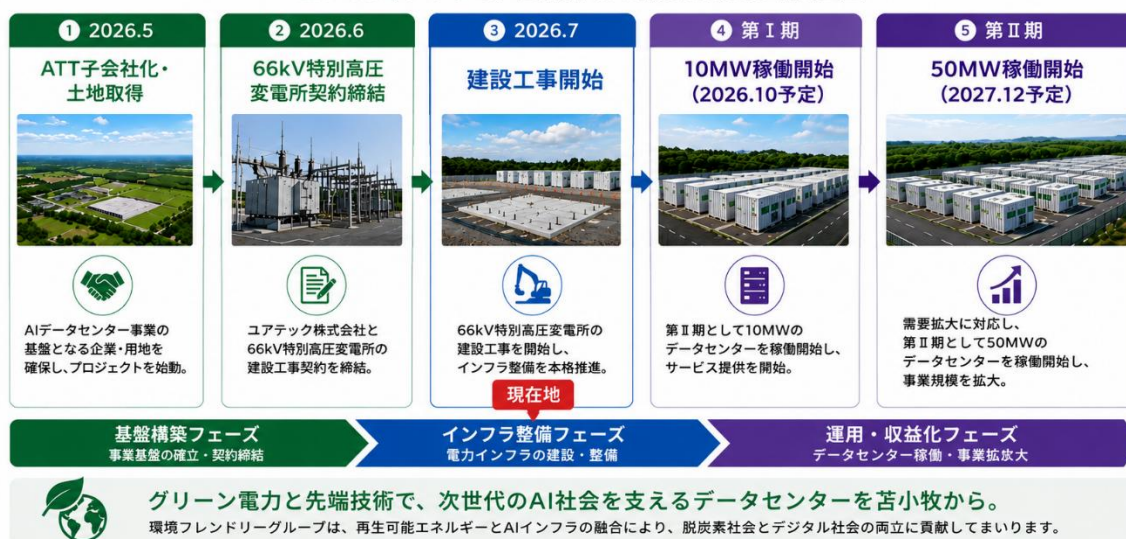
今後も

- ・ AI データセンター設備の整備
- ・ 電力インフラの構築
- ・ 国内外顧客との協議
- ・ AI インフラ事業の本格展開

を段階的に推進し、事業進捗について適時・適切に情報発信してまいります。

苫小牧AIデータセンター事業の進捗と今後の展開

GX×AIインフラで、国内外のAI需要を支える計算基盤へ



※2026年7月1日現在

【プロジェクト概要】

当社グループは、豊富な電力供給環境と冷涼な気候を有する北海道苫小牧市において、再生可能エネルギーとAIインフラを融合した次世代AIデータセンター事業を推進しております。

本プロジェクトは、第I期（10MW）の2026年10月稼働開始を目指すとともに、第II期（50MW）については2027年12月の稼働開始を計画しております。

【投資ハイライト】

- 開発拠点 : 北海道苫小牧市字柏原
- 供給能力 : 第I期10MW → 第II期50MW（計画）
- 基幹インフラ : 66kV 特別高圧受電設備
- 開発用地 : 約100,400 m²

「代表取締役社長 車 陸昭 コメント」

本日の工事開始は、苫小牧 AI データセンター事業が構想から実行フェーズへ移行したことを象徴する重要な節目です。当社は『GX×AI インフラ』を成長戦略の柱の一つとして位置付けており、本プロジェクトを通じて、国内外の AI 需要に応える持続可能な AI インフラの構築を着実に推進するとともに、苫小牧から次世代 AI インフラの実装を進めてまいります。

【会社概要】

株式会社環境フレンドリーホールディングス

所在地：東京都港区

事業内容：再生可能エネルギー事業、GX 関連事業、資源循環事業 等

AI Tech Tomakomai 株式会社

所在地：東京都千代田区

事業内容：AI インフラ事業（AI データセンターの開発・運営等）